

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立可部中学校	校長氏名	重森 雅穂	生徒指導主事氏名	益田 幸始
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『ケアハウス かんべ村 訪問』

取組のねらい 『地域との交流を深める』『入居者の方々と交流を深める』

- ・ 地域で生徒が活動し、認められることによって自己肯定感をもつことができる。
- ・ 地域の方々に生徒と接してもらい、知っていただくことで防犯活動にもなる。
- ・ 高齢者との交流をし、相手を気遣うという体験は生徒たちにとって学校生活では体験できない貴重な時間とする。
- ・ 高齢者との接し方（コミュニケーション能力）や学校外でのルール・マナーについて実践をする場とする。

取組の具体的内容 『高齢者・施設の方との交流』

- ・ 生徒会執行部が中心となり、「司会・進行」を行う。また、自己紹介も行う。そして、代議員会より各クラスに知らせ、ボランティアを募り、約120人で施設を訪問する。
- ・ 吹奏楽部の演奏発表や合唱伴奏を行う。
- ・ 執行部による劇を行う。
- ・ ゲームを考えて、入居者の方々と生徒が一緒になって交流する。
- ・ 参加生徒全員で歌を歌う。



- ・ 自己紹介カードを各個人で作成し、利用者の方々に手渡した。

取組の課題・創意工夫 『出し物の工夫』と『生徒が利用者への対応』

- ・ 利用者との交流を行うため、自己紹介カードの作成や話をする話題について考えた。
- ・ パンフレットの文字の大きさを工夫した。
- ・ 劇で使う小道具やシナリオを自分たちで考えた。

取組の成果（効果）『ボランティア』と『思いやり』

- ・ 利用者の方との接し方、話すときの姿勢など利用者に合わせて姿勢で接していた。
- ・ 新しく参加する生徒も多く、ボランティア参加への思いが出てきた。



今後の展開『定期的に多くの参加を募る』

- ・ 年2回の訪問開催以外にも様々な交流を行い、訪問への参加者を増やしていく。
- ・ 交流内容を参加者、利用者が楽しめるものにする。

他校へのアドバイス『挑戦』

- ・ 生徒が自分たちで交流内容を工夫できるようにアドバイスを行う。
- ・ 交流事業所との打ち合わせを入念に行う。